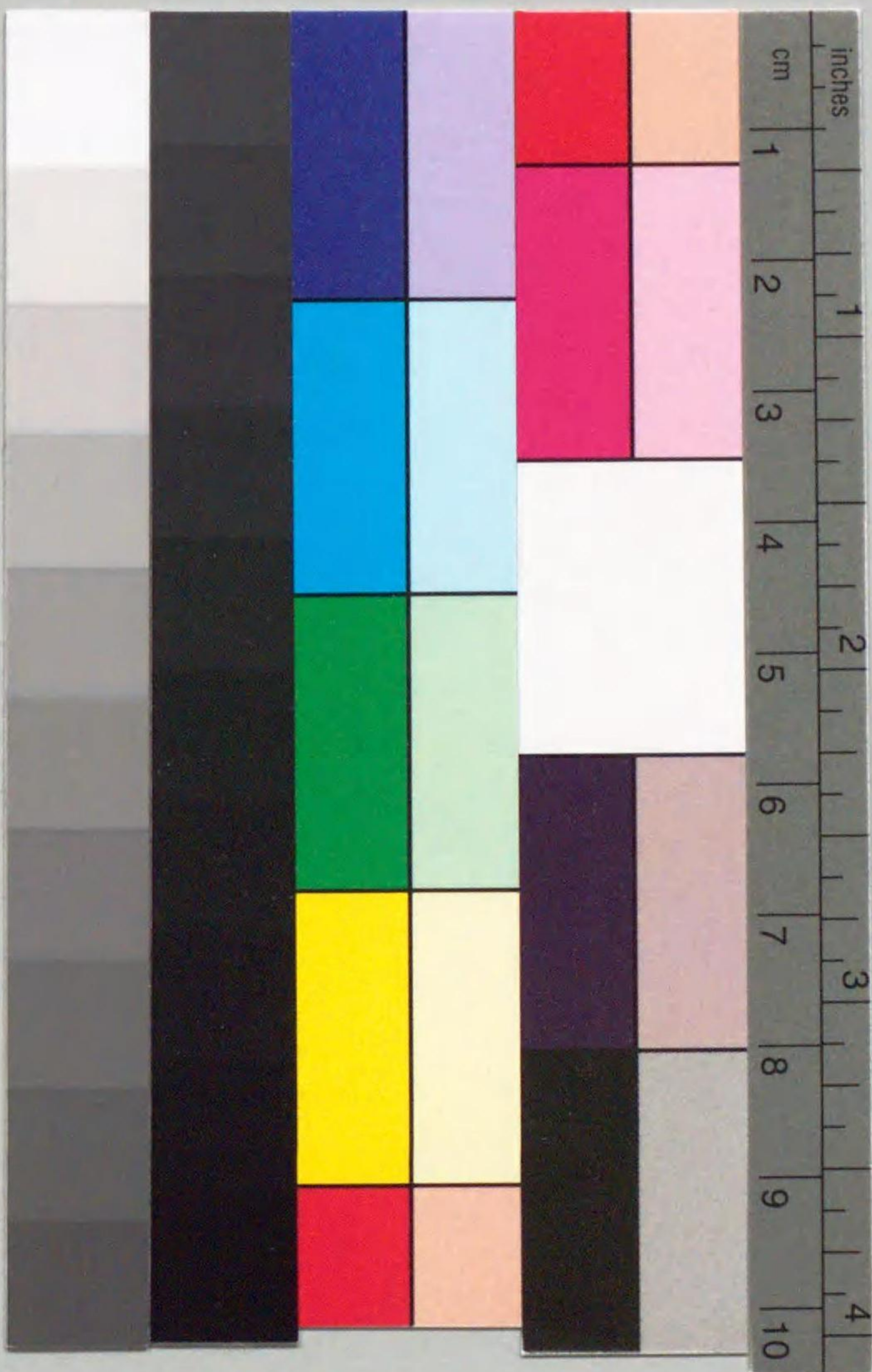


官版

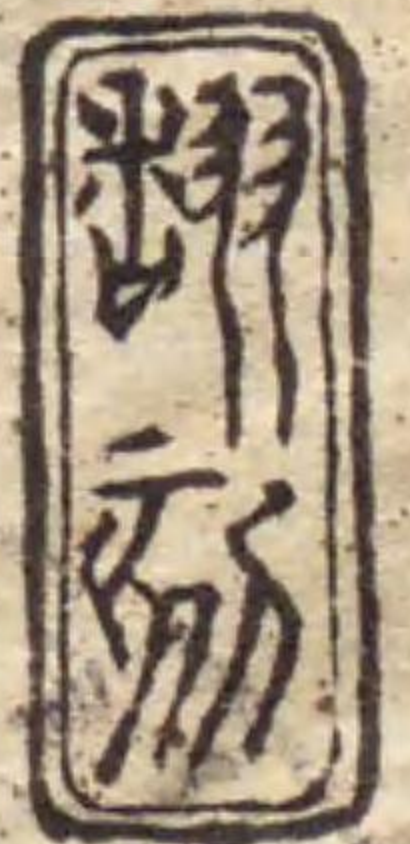
語彙活語指掌

完

815  
10



文部省刊行



官版 語彙活語指掌

文光堂藏版

24597

活語指掌

言語のむねららぬをこそよふあり其ハ詞の活用と辭

の運用となり詞と云ふハあや相もふさくちろ又あひ物も

ふさきまじりるあひおのふさけちろなるあひと相りふと接まきまじりちろと

も用言ちろ接けり多てこまを連用しふあひも相りも用言まきまじりちろ

きやう下條示すの類あり辭と云ふハむてつけり

むめりかなふをむごごもの類あり物りもむおのひておも

ふらん初めへいなるものむてらんむこま辭なり餘ハむせら

て知るべし辭の運用のこと又其意味等ハ別記示解也

詞の活用の數十四種あまごもまの十種を示す第一四段活  
用第二一段活用第三中二段活用第四下二段活用第五加行



變格活用第六佐行變格活用第七奈行變格活用第八良行四

段一格活用第九くき活用第十まき活用等の十種

第一下り第八まきを作用言と  
第九第十を形狀言とすなり

語學せむと相りる十種活用の順序を上より下へ縦ふよみ

からひくそらふ物やあべーそのよまふりいさかむさきさく

さけきむきむおきむおくおきおきむむうう

うれこむきくううせむしすすれいなむい子いぬ

いぬいぬあむありありあはあきくあきく

あきくあきけいんいんいんいんいんいんいんいんいんいん

第四段活用

さか	お	た	あ	す	ふ
将咲	将押	将立	将逢	将住	将降
さ	お	た	あ	す	ふ
咲	押	立	逢	住	降
さ	お	た	あ	す	ふ
咲	押	立	逢	住	降
カ	サ	タ	ハ	マ	ラ
キ	シ	チ	ヒ	ミ	リ
ク	ス	ツ	フ	ム	ル
ケ	セ	テ	ヘ	メ	レ

本書活語の下ふ力キクケなど、志る一たるが即こまなり

第二段活用

き	お	た	あ	す	ふ
着	押	立	逢	住	降
き	お	た	あ	す	ふ
着	押	立	逢	住	降
キ	サ	タ	ハ	マ	ラ
キル	シル	チル	ヒル	ミル	リル
キレ	スレ	ツレ	フレ	ムレ	ルレ

將(ひ)干(む) 將(み)見(む) 將(み)射(む) 將(あ)居(む)

干(ひ) 見(み) 射(あ) 居(あ)

干(み) 見(み) 射(あ) 居(あ)

キ || ヒ || ミ || 干 ||

キ || イ || ミ || ヒ ||

キ || イ || ミ || ヒ ||

本書活語の下ふキクルキレちるぐ、たるぐ即ちなるり

三第

中二段活用

お(き)起(む) 將(お)起(む) 将(お)ち(む) 将(こ)の(む) 将(こ)の(む) 将(こ)の(む) 将(こ)の(む)

お(く)起(む) 起(お) 落(お) 起(お) 起(お) 起(お) 起(お)

お(く)起(む) 起(お) 落(お) 起(お) 起(お) 起(お) 起(お)

お(く)起(む) 起(お) 落(お) 起(お) 起(お) 起(お) 起(お)

キ || ヒ || チ || ミ ||

ク || ツ || フ || ム ||

ク || ツ || フ || ム ||

ク || ツ || フ || ム ||

四第

下二段活用

本書活語の下ふキクルクレちるぐ、たるぐ即ちなるり

お(り)下(む) 將(お)下(む) 將(お)下(む) 將(お)下(む) 將(お)下(む) 將(お)下(む) 將(お)下(む)

お(り)下(む) 下(お) 老(お) 下(お) 下(お) 下(お) 下(お)

お(り)下(む) 下(お) 老(お) 下(お) 下(お) 下(お) 下(お)

お(り)下(む) 下(お) 老(お) 下(お) 下(お) 下(お) 下(お)

リ || イ ||

ル || ユ ||

ル || ユ ||

ル || ユ ||

そ(得)得(む) 將(そ)得(む) 將(そ)得(む) 將(そ)得(む) 將(そ)得(む) 將(そ)得(む) 將(そ)得(む)

そ(得)得(む) 得(そ) 受(そ) 瘦(そ) 捨(そ) 寝(そ) 添(そ)

そ(得)得(む) 得(そ) 受(そ) 瘦(そ) 捨(そ) 寝(そ) 添(そ)

そ(得)得(む) 得(そ) 受(そ) 瘦(そ) 捨(そ) 寝(そ) 添(そ)

エ || ケ || セ || テ || ネ || ヘ ||

ウ || ク || ス || ツ || ヌ || フ ||

ウ || ク || ス || ツ || ヌ || フ ||

ウ || ク || ス || ツ || ヌ || フ ||

ほめむ	将譽	ほむ	譽む	ほむる	譽むる
き消む	将消	き消	消む	き消る	消むる
か枯む	将枯	か枯	枯む	か枯る	枯むる
う植む	将植	う植	植む	う植る	植むる

メ	ム	ムル	ムレ
エ	ユ	ユル	ユレ
レ	ル	ル	ルレ
エ	ウル	ウル	ウルレ

第五 加行變格活用

本書活語の下ふエウウルウレあどるる即こまなり

将来	來	來	來	來
②む	②き	②く	②ろ	②れ

コ	ク	クル	クレ
---	---	----	----

第六 佐行變格活用

本書活語の下ふコキククルクレとある一つけたる即こまなり

將為	為	為	為	為
⑥む	①	④	⑤	⑥

セ	シ	ス	スル	スレ
---	---	---	----	----

第七 奈行變格活用

本書活語の下ふセシススルスレとある一つけたる即こまなり

將往	往	往	往	往
④む	④よ	④ぬ	④ぬ	④ぬ

ナ	ニ	ヌ	ヌル	ヌレ
---	---	---	----	----

第八 良行四段一格活用

本書活語の下ふナニヌルヌレとある一つけたる即こまなり

將有	有	有	有	有
④む	④り	④る	④れ	④れ

ラ	リ	ル	レ
---	---	---	---

本書活語の下ふラリルレとある一つけたる即こまなり

作用言のうち第三中二段活用第四下二段活用第六佐行變格活用等よりあへて今と活用のたがひあり今との大俗言の活用なり

第三 中二段活用俗言格

お(き)む	お(ち)む	こ(ひ)む	う(ら)む	お(い)む	お(り)む
将起	将落	将戀	将恨	将老	将下
お(く)	お(つ)	こ(ひ)	う(ら)	お(ぢ)	お(る)
起	落	戀	恨	老	下
お(キル)	お(チル)	こ(ヒル)	う(ラミル)	お(イル)	お(リル)
起	落	戀	恨	老	下
お(キレ)	お(チレ)	こ(ヒレ)	う(ラミレ)	お(イレ)	お(リレ)
起	落	戀	恨	老	下

キ	チ	ヒ	ミ	イ	リ
ク	ツ	フ	ム	ユ	ル
キル	チル	ヒル	ミル	イル	リル
キレ	チレ	ヒレ	ミレ	イレ	リレ

本書活語の下ふキクキルキレなぞを「たゞ即こまなり  
 圖面ふお(き)お(く)とひら假字のてをせむらひ「今」今もかゝらざればなり  
 さを「お(る)を今お(キル)とら」俗言を「お(る)とら」圖して「お(る)む」

第四 下二段活用俗言格

え(あ)む	う(け)む	や(せ)む	す(て)む	お(ね)む	そ(へ)む	ほ(め)む	き(お)む	か(れ)む	う(植)む
得	受	瘦	捨	寝	漆	響	消	枯	植
え(う)	う(く)	や(ぢ)	す(つ)	お(ぬ)	そ(ひ)	ほ(む)	き(や)	か(る)	う(植)
得	受	瘦	捨	寝	漆	響	消	枯	植
え(エ)	う(ケ)	や(セ)	す(テ)	お(ネ)	そ(ル)	ほ(メ)	き(ヤ)	か(レ)	う(植)
得	受	瘦	捨	寝	漆	響	消	枯	植
え(エ)	う(ケ)	や(セ)	す(テ)	お(ネ)	そ(レ)	ほ(メ)	き(ヤ)	か(レ)	う(植)
得	受	瘦	捨	寝	漆	響	消	枯	植

エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	エ	レ	ウ
ク	ツ	ス	フ	ヌ	ル	ム	ユ	ル	ウ
エル	ケル	セル	テル	ネル	ヘル	メル	エル	レル	ウル
エレ	ケレ	セレ	テレ	ネレ	ヘレ	メレ	エレ	レレ	ウレ



本書活語の下ふエウエルエレなるとある。たるが即こまなり

第六 佐行變格活用俗言格

あん(シ) あん(ト) あん(ヲ) あん(ヲ) あん(ヲ)  
将案 案 案 案 案

ジジズシルジレ

本書活語の下ふジジズシルジレとある。たるが即こまなり

こまなりとの八種を作用言のふ次ふあぐると二種を形状言のふ

第九 クシキ活用

あき(ク) あき(ク) あき(キ)  
案 案 案

ク シ キ

本書活語の下ふクシキとある。たるが即こまなり

第十 シクシシキ活用

こま(シ) こま(シ) こま(キ)  
案 案 案

シク シ シキ

本書活語の下ふシクシシキとある。たるが即こまなり

如此片假字にてある。つとてその詞どもの活用をまじ

ひされど初學の徒から見てのこまなりがこまなりとあるが

まづ(か)き(く)け(さ)し(せ)と順序をよみおぼせられたりこ

まをよみおぼせられたるに作用言總圖をあらわして次

示す 皇國言の活用ハ五十連音おのづからかかるとのなまを作

用言の所生をよみおぼせしめて作用言總圖とせらる

この圖をよみおぼせられたるにふまえてさく(か)む(さ)

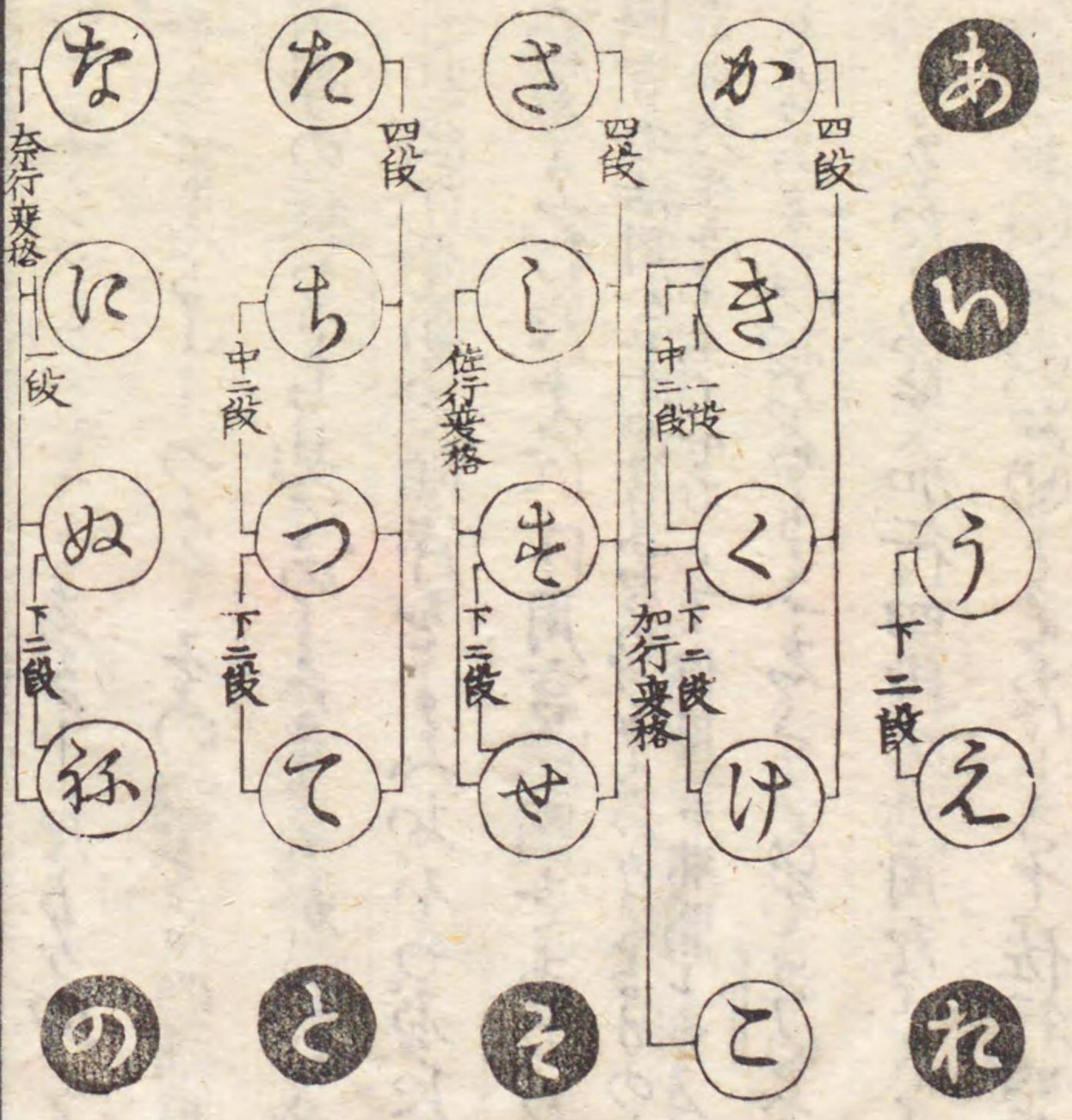
き(さ)く(さ)け(と)とをたたらせて加行四段の活用なることとあらせ

おす(お)さ(む)お(し)お(す)お(せ)とをたたらきて佐行四段の活用

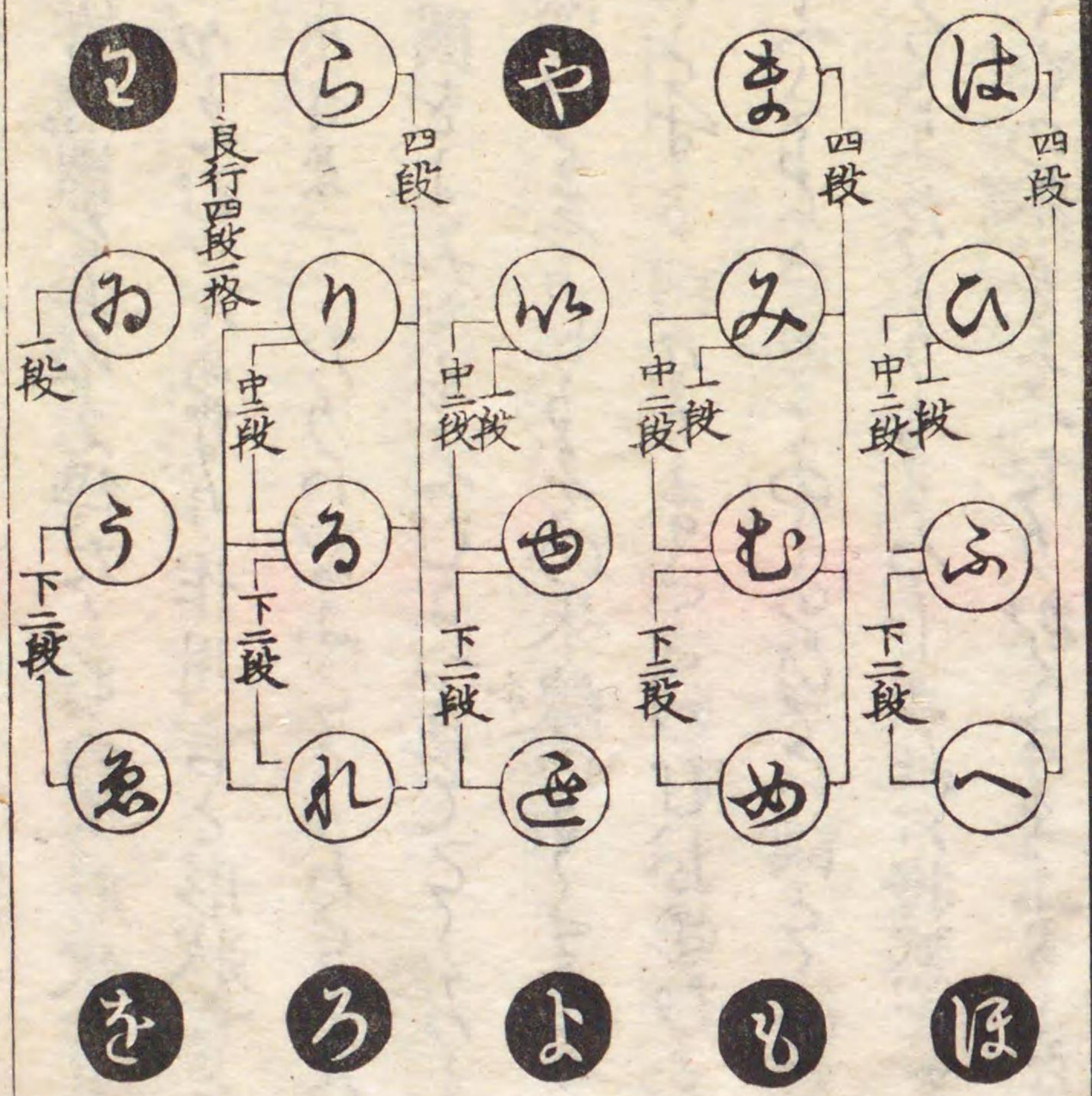
作用言總圖

白字ちりたる活勝ざる  
ちりちり

阿行 アギヤウ 加行 カギヤウ 佐行 サギヤウ 多行 タギヤウ 奈行 ナギヤウ



波行 ハギヤウ 麻行 マギヤウ 也行 ヤギヤウ 良行 ラギヤウ 和行 ワギヤウ



活言抄



次ツキに活語指掌圖をゆりて示すそのゆゑの上よりあざ  
 たる作用言總圖をおぼえ得たらむのち形状言のあらま  
 一をもおぼえむがためなり作用言と形状言とをまゝり  
 るもハタラキ活用法ハタラキをさま一とたりいふふこころなりたるを  
 さてこの圖をよみおぼえむよつまずてこころりうんきと  
 あり將然言とをさるせらるその朱線朱のこころをまゝり  
 うあらむとする詞なりまゝに①む②む③むいやうむ  
 の辭テラスをそくしむる④の⑤の⑥の⑦の⑧の⑨の⑩の⑪の⑫の⑬の⑭の⑮の⑯の⑰の⑱の⑲の⑳の㉑の㉒の㉓の㉔の㉕の㉖の㉗の㉘の㉙の㉚の㉛の㉜の㉝の㉞の㉟の㊱の㊲の㊳の㊴の㊵の㊶の㊷の㊸の㊹の㊺の㊻の㊼の㊽の㊾の㊿の  
 の①の②の③の④の⑤の⑥の⑦の⑧の⑨の⑩の⑪の⑫の⑬の⑭の⑮の⑯の⑰の⑱の⑲の⑳の㉑の㉒の㉓の㉔の㉕の㉖の㉗の㉘の㉙の㉚の㉛の㉜の㉝の㉞の㉟の㊱の㊲の㊳の㊴の㊵の㊶の㊷の㊸の㊹の㊺の㊻の㊼の㊽の㊾の㊿の  
 の①の②の③の④の⑤の⑥の⑦の⑧の⑨の⑩の⑪の⑫の⑬の⑭の⑮の⑯の⑰の⑱の⑲の⑳の㉑の㉒の㉓の㉔の㉕の㉖の㉗の㉘の㉙の㉚の㉛の㉜の㉝の㉞の㉟の㊱の㊲の㊳の㊴の㊵の㊶の㊷の㊸の㊹の㊺の㊻の㊼の㊽の㊾の㊿の  
 の①の②の③の④の⑤の⑥の⑦の⑧の⑨の⑩の⑪の⑫の⑬の⑭の⑮の⑯の⑰の⑱の⑲の⑳の㉑の㉒の㉓の㉔の㉕の㉖の㉗の㉘の㉙の㉚の㉛の㉜の㉝の㉞の㉟の㊱の㊲の㊳の㊴の㊵の㊶の㊷の㊸の㊹の㊺の㊻の㊼の㊽の㊾の㊿の

れのづらら將然言の意もさやうもあらんとおぼれハ  
 ぞり一次に連用言とら用言より用言へつゞく詞あり  
 とやうなりこの詞より用言へつゞくまきよらよら①やるとその  
 詞でいふも一たるをよみひてあはらひまじ終止言と  
 り語意こころをさるなり連體言より用言よ  
 り體言よこの詞より詞やがゆふやくのやうり體言へつゞく  
 さの花お車と體言へひつゞくその詞でいふ  
 る一たるをよみひてあはらひてさる一已然言とら  
 へさるのちあらりたるをよみひてさる一詞あり花とら車  
 をさるおせとら又花とら①の車をおせ②の類なり

語彙活語指掌

花さの車をお世とらふ希求言使令言とあらうて又其意異ふまでこの  
 詞をひらきおびよるしふまにかりてまごふはくまごふといふを  
 將然言連用言終止言連體言已然言を詞の五階と名づく  
 さてこの五階を四段活用するに終止と連體とをわけて  
 圖す一段活用中二段活用下二段活用するに將然と連用  
 とをわけて圖す  
 此の見やきからしめむかため如此  
 良行四  
 段一格いともより連體と終止とをわけてより  
 畧圖せ  
 らざらる

活語指掌圖

將然言

連用言

終止言

連體言

已然言

朱線のあらうてはさうして二階  
 かひらうてはさうして

第二段					第一					第一段					第四																				
居	射	見	干	似	着	降	住	逢	立	押	映	居	射	見	干	似	着	降	住	逢	立	押	映	居	射	見	干	似	着	降	住	逢	立	押	映
あむ	ひむ	みむ	ひむ	にむ	きむ	らむ	まむ	そむ	たむ	きむ	かむ	あむ	ひむ	みむ	ひむ	にむ	きむ	らむ	まむ	そむ	たむ	きむ	かむ	あむ	ひむ	みむ	ひむ	にむ	きむ	らむ	まむ	そむ	たむ	きむ	かむ
つゝ	とほむ	あきむ	かよふ	あきむ	なむ	くむ	まむ	みる	やむ	はほむ		つゝ	とほむ	あきむ	かよふ	あきむ	なむ	くむ	まむ	みる	やむ	はほむ		つゝ	とほむ	あきむ	かよふ	あきむ	なむ	くむ	まむ	みる	やむ	はほむ	
あむ	ひむ	みむ	ひむ	にむ	きむ	らむ	まむ	そむ	たむ	きむ	かむ	あむ	ひむ	みむ	ひむ	にむ	きむ	らむ	まむ	そむ	たむ	きむ	かむ	あむ	ひむ	みむ	ひむ	にむ	きむ	らむ	まむ	そむ	たむ	きむ	かむ
人	箭	書	麥	人	衣	兩	家	人	人	車	花	人	箭	書	麥	人	衣	兩	家	人	人	車	花	人	箭	書	麥	人	衣	兩	家	人	人	車	花
あむ	ひむ	みむ	ひむ	にむ	きむ	らむ	まむ	そむ	たむ	きむ	かむ	あむ	ひむ	みむ	ひむ	にむ	きむ	らむ	まむ	そむ	たむ	きむ	かむ	あむ	ひむ	みむ	ひむ	にむ	きむ	らむ	まむ	そむ	たむ	きむ	かむ

吾意活語指掌

六第	五第	四第
格變行佐	格變行加	段
變為	來	植枯消譽
② む	② む	② め む
① まむ	① まむ	① め む
④ む	④ む	④ め む
⑤ む	⑤ む	⑤ め む
君業	人	苗草雪事
⑥ む	⑥ む	⑥ め む

第	三第
二下	段二
添寢捨瘦受得	下老恨戀落起
① め む	① め む
② め む	② め む
③ め む	③ め む
④ め む	④ め む
⑤ め む	⑤ め む
⑥ め む	⑥ め む
⑦ め む	⑦ め む
⑧ め む	⑧ め む
⑨ め む	⑨ め む
⑩ め む	⑩ め む
物床物身物窮	人身事人葉人
⑪ め む	⑪ め む

九第	八第	七第
良行格 良行四段一 居有	良行格 良行四段一 居有	奈行格 奈行四段一 死往
く 浅	ら 有	ぢ 往
く あは れ	ら む	ぢ む
し 深	り 有	ね 往
し あは れ	り む	ね む
き 心	る 人	ぬ 人
き こころ	る ひと	ぬ ひと
れ 心	れ 人	ね 命
れ こころ	れ ひと	ね いのち

これまの八種を作用言と云  
これより二種を形状言と云

ねのことゝ  
別記と云

第十第
志恋 く恋 志恋
あ れ
あ れ
事 事
れ 心

上は舉たり指掌圖をよみてあはれをいひむらさきての其俗  
意を志らざるすゝやかゝ心得ぐささるやうりて十種活用  
おこなえて俗意をあてて童蒙のたまりとす但し連體言ハ  
結詞 カホコトバ 結詞 カホコトバ 係辭 カホコトバ 係辭 カホコトバ の名なりされどそのこと今こゝ  
さへるをのへて俗解せりさるるさるる花おす車などいひつる  
類 カホコトバ の今もかゝることなほして別々俗解せしむる

吾意古意

言言六言言言

あらざるべしぞか

又とふいふべきこと終止言をかり小(輕)と記して示す連  
 體言ハ(重)と記して示すそハ四段活用一段活用ハ終止  
 と連體とをかりて圖せれば早く見らむとありてよく讀  
 て味<sup>ア</sup>志<sup>テ</sup>るべし

段四行加

將然さ(カ)ウ	サ(カ)ウ	終止連體	オキマス	已然さ(カ)ウ	オキマス
今日の花さきうりや 大さうさ(カ)ウはあひマ ス	今日の花さきうりや 大さうさ(カ)ウはあひマ ス	輕風(カ)ウも花ハ サキマス 重あつてうりつら 花があきつらやう ハサクワイ	輕風(カ)ウも花ハ サキマス 重あつてうりつら 花があきつらやう ハサクワイ	きよふくを花ハサイ タガマア	きよふくを花ハサイ タガマア

段四行佐

將然お(カ)ウ	オ(カ)ウ	連用お(カ)ウ	オ(カ)ウ	終止連體	オキマス	已然お(カ)ウ	オキマス
この車ハたいさうおも い車キヤマもてら だうてオ(カ)ウ	この車ハたいさうおも い車キヤマもてら だうてオ(カ)ウ	れめい車とみゆきヤ やうくのそでか(カ)ウ ヤリマス	れめい車とみゆきヤ やうくのそでか(カ)ウ ヤリマス	輕道(カ)ウも車ハ オキマス 重あめい車ガカカ あめい車オスワイ	輕道(カ)ウも車ハ オキマス 重あめい車ガカカ あめい車オスワイ	よめい車ハ重(カ)ウ オキマス	よめい車ハ重(カ)ウ オキマス

段四行多

將然た(カ)ウ	タ(カ)ウ	連用た(カ)ウ	タ(カ)ウ	終止連體	タキマス	已然た(カ)ウ	タキマス
かう風が吹てらるる 見てハ居ら且ち サアくオ(カ)ウ	かう風が吹てらるる 見てハ居ら且ち サアくオ(カ)ウ	何事の世持たやん あの人ハ見物をもち けそた(カ)ウママス	何事の世持たやん あの人ハ見物をもち けそた(カ)ウママス	輕物(カ)ウも居られ オキマス 重あつてうりつら ハサクワイ	輕物(カ)ウも居られ オキマス 重あつてうりつら ハサクワイ	其場をそめい む志らびタツカ マア	其場をそめい む志らびタツカ マア

言言六言言言

波 行 四 段

麻 行 四 段

將然 あ④む ア④ウ	連用 お④み	終止 あ④	アヒマス アライ	已然 あ④ 万カマア
いづくたあいたい こともあらぢやい と明日茶屋でア のウ	とてあをきぬと と思つたが今日 ふま〜あ④み ス	●ま〜あまち さいチヨツとアヒマス ●かゝの約束を まのやうアライ		け〜ま〜 アアカマア

將然 ま⑤む ス⑤ウ	連用 ま⑤み	終止 ま⑤	スヒマス スライ	已然 ま⑤ スカマア
このやうなまきれた 家におく居る氣 いぢやアアツと ス⑤ウ	住まゝにだんどの 家においで居ていけ な〜ま⑤みす てマス	●ちか〜居る チヨツとスヒマス ●よゝの家チヤカ の家これのやう スハライ		今ま〜ま〜 てこの家ハス〜カマ ア

將然 ふ⑥む フ⑥ウ	連用 ふ⑥み	終止 ふ⑥	フヒマス フルワイ	已然 ふ⑥ フカマア
たのまう雲が出て 來たぢやアを大雨 ダフ⑥ウ	まつ〜ふちつて大 雨ふ⑥みマス	●後をれま〜 ダ一度ハフルマス ●ひ〜ま〜 このやうフルワイ		夜の間ま〜まの や〜フカマ ア

良 行 四 段

加 行 一 段

將然 き⑦む キ⑦ウ	終止 き⑦	キヒマス キルワイ	已然 き⑦ キカマア
秋風がたぐ〜とらま 〜ちつたチヤ裕を ヤウ	●輕 衣服が出來ちら ●重 マ〜のいぢや 衣服をこれのやう ルワイ		着き時こそこのやう な衣もキカマア

連用 き⑦み	連終 体止		
あたら〜の衣服を かりてきま〜の一両日 ちら〜マス			

連用 き⑦み	連終 体止		
あたら〜の衣服を かりてきま〜の一両日 ちら〜マス			

吾...

段一行奈

段一行波

將然 (㊦) ㊦	連用 (㊦) ㊦	終止連体 (㊦) ㊦	已然 (㊦) ㊦
先生のねとちをいを見えらうと後あよく (㊦) ヤウ	先生のありを見えらうと居る故に講釋のありが (㊦) かゝるマス	講釋のありをいをい故に先生にニマス (㊦) 骨折たかゝるを先生の講義よりいあはれぬニルワイ	先生のを見えらうとちとて講釋よりいよくニタガマア
將然 (㊦) ㊦	連用 (㊦) ㊦	終止連体 (㊦) ㊦	已然 (㊦) ㊦
大まうよと天氣がよの目よりならけ (㊦) のがよく (㊦) ヤウ	天氣がよの目陰け (㊦) ちなる冬も (㊦) からのマス	天氣がよの目陰け (㊦) のがよくと今日よくヒマス (㊦) 晴天より故に物があるあやふヒルワイ	天氣がよかつて (㊦) らうと乾物がよくヒタガマア

段一行麻

段一行也

將然 (㊦) ㊦	連用 (㊦) ㊦	終止連体 (㊦) ㊦	已然 (㊦) ㊦
その書もみえと書物 (㊦) ちやう今日見らるる明日 (㊦) ヤウ	書夜つとあてんご故に (㊦) かゝる書をい (㊦) ちちすち (㊦) あきらのマス	今日ハヒまぢやちやうて (㊦) 書とヒマス (㊦) 此書はあり (㊦) らうと書やからこれのやうにヒルワイ	今日こそあくまで書物をミタガマア
將然 (㊦) ㊦	連用 (㊦) ㊦	終止連体 (㊦) ㊦	已然 (㊦) ㊦
弓を射たいのちやが (㊦) がしてちちぬひまを見 (㊦) て (㊦) ヤウ	弓勢とちちぬひあそ (㊦) らうのちや極も甲も (㊦) ちちマス	下手でんあはれ (㊦) 尺貫の射 (㊦) ちやヒマス (㊦) 重趣者 (㊦) あり (㊦) べか (㊦) 鳥 (㊦) も (㊦) ちちのやうにヒルワイ	尺貫の的であはれ (㊦) ちちやう (㊦) くイタガマア

和行一段 加行二段

<p>將然 (のむ)</p> <p>世話ふちらのへ至つて氣のぶくぢやあまうらむらひのあきこー (キヤウ)</p>	<p>終止 (あ)</p> <p>了あぢまでてのどろんキマス 重御家の奉公やあまたしんじきみのやうキルワ</p>	<p>キマス</p> <p>キルワイ</p>	<p>已然 (あ)</p> <p>よく奉公を直さく十年あまうらむやカマア</p>
<p>連用 (のつく)</p> <p>あの人へつてあたまぬゆあなめぬ氣をいぶくぢのや (のつきマス)</p>	<p>連体 (お)</p> <p>つてうらむと早朝ふくしとのやうふオキルワイ</p>	<p>キルワイ</p>	<p>已然 (あ)</p> <p>用事があははとそ早くオキカマア</p>
<p>將然 (お)</p> <p>最早夜があけとぢ (キヤウ)</p>	<p>連体 (お)</p> <p>おきカマア</p>	<p>キルワイ</p>	<p>已然 (あ)</p> <p>オキカマア</p>
<p>連用 (お)</p> <p>夜があまらとく (キヤウ)</p>	<p>連体 (お)</p> <p>オキカマア</p>	<p>キルワイ</p>	<p>已然 (あ)</p> <p>オキカマア</p>

多行中二段 波行中二段

<p>將然 (お)</p> <p>柿がたいさうらん (キヤウ)</p>	<p>終止 (あ)</p> <p>風をあつとく柿がオチマス</p>	<p>連体 (お)</p> <p>おんオチマス</p>	<p>已然 (あ)</p> <p>昨夜の大風があつて是れを今朝柿があくさんオチカマア</p>
<p>連用 (お)</p> <p>落せまうとあつたあゑ (キヤウ)</p>	<p>終止 (あ)</p> <p>あは後いよ人オチマス</p>	<p>連体 (お)</p> <p>おんオチマス</p>	<p>已然 (あ)</p> <p>あつたら御出さるはははとそオチカマア 兩三日コフカマア</p>
<p>將然 (お)</p> <p>子供あまら (キヤウ)</p>	<p>連体 (お)</p> <p>おんオチマス</p>	<p>連体 (お)</p> <p>おんオチマス</p>	<p>已然 (あ)</p> <p>オチカマア</p>
<p>連用 (お)</p> <p>親のちの子あまら (キヤウ)</p>	<p>連体 (お)</p> <p>おんオチマス</p>	<p>連体 (お)</p> <p>おんオチマス</p>	<p>已然 (あ)</p> <p>オチカマア</p>



麻 行 中 二 段 也 行 中 二 段

<p>將然 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>かうるがくねらふと し居てふきかめく ウラ <small>⑤</small> ヤウ</p>	<p>終止 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>うらむちとりの らむらむらむらむらむ</p>	<p>連体 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>あむらむらむらむらむらむ らむらむらむらむらむらむ やうらむらむらむらむらむ</p>	<p>已然 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>らむらむらむらむらむらむ らむらむらむらむらむらむ らむらむらむらむらむらむ</p>
<p>連用 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>夫の心が薄情チヤと みそそ女房が毎日々々 ウラ <small>⑤</small> あひひマヌ</p>			
<p>將然 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>このやうに物心配 なるら顔かたちもオ <small>①</small> ヤウ</p>	<p>終止 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>年がよりののんとのめ やうらむらむらむらむらむ</p>	<p>連体 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>年がよりののんとのめ 物チヤあひひあひひ らむらむらむらむらむらむ</p>	<p>已然 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>あまのり心配あひひらむ らむらむらむらむらむらむ らむらむらむらむらむらむ</p>
<p>連用 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>つよ男であつたが 年がよりの腰が重 らむ <small>⑤</small> かきうらマヌ</p>			

良 行 中 二 段 阿 行 下 二 段

<p>將然 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>さむい風がうらむらむ 二階からオ <small>①</small> ヤウ</p>	<p>終止 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>只今二階の御用 ミ次第そまオ <small>①</small> マヌ</p>	<p>連体 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>二階の萬事不自由 ガヤとみそそあひひ あひひあひひあひひ オ <small>①</small> ルワイ</p>	<p>已然 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>二階のイヤヤヤヤヤ のらむらむらむらむらむ オ <small>①</small> ルワイ</p>
<p>連用 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>二階のイヤヤヤヤヤ 一の下 <small>①</small> オ <small>①</small> マヌ</p>			
<p>將然 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>今年ハ商法を しやうくさへは利を <small>⑤</small> ヤウ</p>	<p>終止 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>商法がよのうら利を エ <small>⑤</small> マヌ</p>	<p>連体 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>商法がよのうら利を そのやうに利をエ ルワイ</p>	<p>已然 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>商法がよのうら利を 大利をエ <small>⑤</small> マヌ</p>
<p>連用 <small>らむ</small> <small>らむ</small> <small>らむ</small></p> <p>商法をよのうら 今年ハ正月から利を <small>⑤</small> めマヌ</p>			

加 行 下 二 段

將然 <small>うむむ</small> <small>ウマウマ</small>	終止 <small>うむむ</small> <small>ウマウマ</small>	連体 <small>うむむ</small> <small>ウマウマ</small>	已然 <small>うむむ</small> <small>ウマウマ</small>
金銀 <small>てんぎん</small> の品物 <small>しんぶつ</small> を <small>を</small> ウマウマ ヤウ	品物 <small>しんぶつ</small> が <small>が</small> ウマウマ	誠 <small>まこと</small> あり <small>あり</small> から <small>から</small> の御心 <small>ごころ</small> ざい <small>ざい</small> が <small>が</small> こころ <small>こころ</small> に ウマウマ	品物 <small>しんぶつ</small> が <small>が</small> ウマウマ キノドク <small>キノドク</small> が <small>が</small> ウマウマ タカマア
連用 <small>うむむ</small> <small>ウマウマ</small>			
代料 <small>だいりょう</small> で <small>で</small> ウマウマ 品物 <small>しんぶつ</small> が <small>が</small> ウマウマ ウマウマ			
將然 <small>やむむ</small> <small>ヤムム</small>	終止 <small>やむむ</small> <small>ヤムム</small>	連体 <small>やむむ</small> <small>ヤムム</small>	已然 <small>やむむ</small> <small>ヤムム</small>
ウマウマのウマウマから 夏 <small>なつ</small> が <small>が</small> ウマウマ ウマウマ	夏 <small>なつ</small> に <small>に</small> ウマウマ ウマウマ	ウマウマが <small>が</small> ウマウマ ウマウマ	夏 <small>なつ</small> が <small>が</small> ウマウマ ウマウマ
連用 <small>やむむ</small> <small>ヤムム</small>			
夏 <small>なつ</small> が <small>が</small> ウマウマ ウマウマ			

多 行 下 二 段

將然 <small>まてて</small> <small>ステマテ</small>	終止 <small>まてて</small> <small>ステマテ</small>	連体 <small>まてて</small> <small>ステマテ</small>	已然 <small>まてて</small> <small>ステマテ</small>
このウマウマ物 <small>もの</small> は <small>は</small> ウマウマ とウマウマ買人 <small>かひ</small> が <small>が</small> ウマウマ ウマウマ	きたなりのウマウマ からステマテ	ウマウマのウマウマから ウマウマ ルワイ	きたなりのウマウマと 思 <small>おも</small> ひ <small>ひ</small> こ <small>こ</small> ま <small>ま</small> れ <small>れ</small> と ステマテマア
連用 <small>まてて</small> <small>マテマテ</small>			
用 <small>もち</small> ひ <small>ひ</small> た <small>た</small> く <small>く</small> ウマウマ ウマウマ			

奈 行 下 二 段

將然 <small>むむ</small> <small>ムム</small>	終止 <small>むむ</small> <small>ムム</small>	連体 <small>むむ</small> <small>ムム</small>	已然 <small>むむ</small> <small>ムム</small>
大 <small>おほ</small> き <small>き</small> ウマウマ た <small>た</small> ウマウマ	夜 <small>よ</small> が <small>が</small> ウマウマ ウマウマ	酒 <small>さけ</small> が <small>が</small> ウマウマ ウマウマ	ウマウマ ウマウマ
連用 <small>むむ</small> <small>ムム</small>			
ウマウマ ウマウマ			

語彙活語指掌

言真言言亦掌

波 下行 二段 麻 下行 二段

將然 <small>そのひ</small> <small>ソノヤウ</small>	終止 <small>そのひ</small> <small>ソノマ</small>	連体 <small>そのひ</small> <small>ソノル</small>	已然 <small>そのひ</small> <small>ソノマ</small>
此度の狂言の進物ぐまぐま なうら今一品をそ ○ヤウ	品がまぐまぐまぐま 一品ソノマス	品物ぐまぐまぐま これ子のやうふ ワイ	品物ぐ不足シヤから こそあのやうな物 をもソノマ
連用 <small>そのひ</small> <small>ソノマ</small>			
此度の狂言の進物ぐまぐま なうら今一品をそ ○おろりマス			
將然 <small>そのひ</small> <small>ホノヤウ</small>	終止 <small>そのひ</small> <small>ホノマ</small>	連体 <small>そのひ</small> <small>ホノル</small>	已然 <small>そのひ</small> <small>ホノマ</small>
此度の狂言の進物ぐまぐま 来た狂言チヤ世間で ホノヤウ	狂言の進物ぐまぐま らホノマス	狂言のおもりの ハ誰もおもりの あまあのやうにホ ルワイ	見狂言のよま バこそ大きくホ タガマ
連用 <small>そのひ</small> <small>ホノマ</small>			
此度の狂言の進物ぐまぐま 来た狂言チヤ世間で ホノヤウ			

也 下行 二段 良 下行 二段

將然 <small>そのひ</small> <small>キヤウ</small>	終止 <small>そのひ</small> <small>キエマス</small>	連体 <small>そのひ</small> <small>キエル</small>	已然 <small>そのひ</small> <small>キエマ</small>
春の雪の進物ぐまぐま なうら今一品をそ ○ヤウ	あつらうら雪が キエマス	春の雪の進物ぐまぐま あつらうらあれあれ うキエルワイ	春の雪の進物ぐまぐま 高山の雪の進物ぐまぐま キエタガマ
連用 <small>そのひ</small> <small>キヤウ</small>			
春の雪の進物ぐまぐま なうら今一品をそ ○ヤウ			
將然 <small>そのひ</small> <small>カレヤウ</small>	終止 <small>そのひ</small> <small>カレマス</small>	連体 <small>そのひ</small> <small>カレル</small>	已然 <small>そのひ</small> <small>カレマ</small>
冬に草の進物ぐまぐま なうら今一品をそ ○ヤウ	冬に草の進物ぐまぐま ガレマス	霜が草の進物ぐまぐま なうら今一品をそ カレルワイ	霜が草の進物ぐまぐま 草も霜の進物ぐまぐま こそ草の進物ぐまぐま カレタガマ
連用 <small>そのひ</small> <small>カレヤウ</small>			
冬に草の進物ぐまぐま なうら今一品をそ ○ヤウ			

和下行二段 加行變格

將然 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩	連用 ㊪ ㊫ ㊬ ㊭	終止 ㊮ ㊯ ㊰ ㊱	連体 ㊲ ㊳ ㊴ ㊵	已然 ㊶ ㊷ ㊸ ㊹
早苗が大きなのびて きく二兩日のうちに う④ヤウ	連用 ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ 早苗がきくまのびる たがや吉日もあ合する う④ヤウ	終止 ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ 日からもよるう早 苗をウエマス	連体 ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ 水が十分に行き たよるうも草を あまあのやうにウエ ルワイ	已然 ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ 上手の早少女が くまの田へよくウ エタマア
あの人の何とぞ このやうなものを のてやまうるも 今よ④ヤウ	連用 ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ 道がまのりうら 我が家へ人の う④ヤウ	終止 ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ 出たのりうら ら我が家へ人 う④ヤウ	連体 ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ 友だちとよめ いぢううし ヂヤ雨のあま あまあのやうに クルワイ	已然 ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ やうくのう くまのま キタカマア

佐行變格

將然 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩	連用 ㊪ ㊫ ㊬ ㊭	終止 ㊮ ㊯ ㊰ ㊱	連体 ㊲ ㊳ ㊴ ㊵	已然 ㊶ ㊷ ㊸ ㊹
まらとにききう たのこちヤア トウ㊦ウ	連用 ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ 運のまらとのハ あううあのこと で一生つせうな う④ヤウ	終止 ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ よの人といふのハ 別段あのこと ことばうシマス	連体 ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ かた人の別段 ヤ年がよても毎 日のつとめをあ まあのやうに ルワイ	已然 ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ よの人ちんご かやうな善事も シタカマア
御たちあそび てたびの日數も つりうたつぬ ごらんごらんオ ハ㊦ウ	連用 ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ 遠路をもつが なく御着あて たのりうあは う④ヤウ	終止 ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ 我君に只今この とまらにオハシ マス	連体 ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ 患苦をまつてゴ ザル君に別段 ヤ遠路をもつ 行てあまあの ナリにオハスル ア	已然 ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ 患苦をなめ給 ふ君にまら このやうな國 でもオハシタカ マア

諸事活語抄

格 變 行 奈

將然 <sup>①</sup> <small>イウウ</small>	連用 <sup>②</sup> <small>イウウ</small>	終止 <sup>③</sup> <small>イニマス</small>	連体 <sup>④</sup> <small>イヌルワ</small>	已然 <sup>⑤</sup> <small>イニダ</small>
そのやうに暮ふ ならつてにかが なつてこそイウ	足りしむぢやぞ になぐの道中へ い④ニマス	けつのかうくの ことを故郷イ ニマス	長旅あつても と見えそやう の體であら のやうイヌルワ	かたりあつても はなそ遠路の とらへもイニダ ガマア
將然 <sup>⑥</sup> <small>シウウ</small>	連用 <sup>⑦</sup> <small>シウウ</small>	終止 <sup>⑧</sup> <small>シニマス</small>	連体 <sup>⑨</sup> <small>シヌルワ</small>	已然 <sup>⑩</sup> <small>シニダ</small>
下ぐつ病本 やうそそもか なぬぢやぞ シウウ	そり病はま たのぢや多く の人がま⑦ニマ ス	あの人病ぢも つたぢやぞ シニマス	ついででも病 でなまうぢや あつてもやうに シヌルワ	病をまじも よの人でもシニダ ガマア

格 一 段 四 行 良

將然 <sup>①</sup> <small>アウウ</small>	連用 <sup>②</sup> <small>アウウ</small>	終止 <sup>③</sup> <small>アリマス</small>	連体 <sup>④</sup> <small>アルワイ</small>	已然 <sup>⑤</sup> <small>アウダ</small>
氣をのんで別ア よのこらなつた のまぢアウウ	あつてせがよ あつてよの所 あつてアウウ	運のよの人 ありまア マス	こたうの身分 ありがた 今も繁昌 のやうにアルワイ	運がよけ よのあつても タガマア
將然 <sup>⑥</sup> <small>ヨウウ</small>	連用 <sup>⑦</sup> <small>ヨウウ</small>	終止 <sup>⑧</sup> <small>ヨリマス</small>	連体 <sup>⑨</sup> <small>ヨルワイ</small>	已然 <sup>⑩</sup> <small>ヨウダ</small>
ごに居よ 席がよから あつてヨウウ	席がま てのくを リマス	御召のあら よのま ス	御召のあら 出も のやうにヨルワイ	御召が よのま ガマア

吾事吾旨

詩彙注詩抄

形狀言俗解

き	連用 あさのねりふ そちさし不實キヤ からこちこもあさの ねりひマス
し	終止 あさの 不 とくく骨をうぬを こまかしくいふアサ イザヤ
く	連体 あさの 不 事成就甘まのこ ころさうがあまのあ まうにアサイロイ
	已然 あさの 不 氣がうつりやまけは ばこそあの人いころ さうがアサイガマア

明治十八年九月八日翻刻御届  
明治十八年同月 出版

三重縣平民 翻刻出版人 石丸弘人

伊勢国度會郡山田  
八日市場町九十三番地

愛知縣名古屋區

發賣書肆 梶田勘助

鉄砲町廿三番戸

815

10



